



朝のあいさつ・登校のようす

朝の校門の様子です。生徒も先生も地域の方も、登校してくる生徒に元気なあいさつを届け、見守っています。校門付近だけでなく、地域でも「玉東中の生徒はよくあいさつをしてくれる」と、ほめていただくことがよくあります。あいさつ運動のおかげですね。あいさつだけでなく、交通ルールやマナーも守って、安全に登校しましょう。



毎朝生徒を出迎える NET の先生



生徒会と生活委員のあいさつ運動



登校する生徒を見守る地域の方と先生

人権講演会

9/8(金)に、元山陽放送アナウンサーの濱家輝雄さんをお招きして、人権講演会を開催しました。暑さ対策として、図書室で講演している様子を、各教室へ配信しました。図書室では、PTA 役員さんや公民館の方、生徒会執行部、教職員が聴きました。

演題は、「努力はウソをつかない」です。濱家さんは、祖母の「若い時に一生懸命汗をかくことが大切。汗をかかなかつた分、年をとったら涙になる。」という言葉に励まされて、猛勉強して放送局に入社されました。夢をつかみとるためには、努力を積み重ねないといけない、すなわち努力はウソをつかないということや、人生を歩んでいくための心構えなど以下の内容を、ご自身の体験を踏まえてわかりやすくお話くださいました。

- ・「挫折」は財産になります。失敗することも必要です。夢(目標)をもっていたら挫折は乗り越えられます。
- ・夢(目標)を山に例えて、どんな高さの山でも、自分で選んで、上るための準備(努力)をすることが必要です。そして、他の山(他人の夢)をけなさないことです。
- ・「学力」も必要ですが、「楽力」も大切です。おらかな気持ちで、難しいことも楽しんで取り組んでみましょう。A(明るく)・T(楽しく)・M(前向きに)という気持ちで。
- ・人をひとりぼっちにしないこと。手を差し伸べたり、理解したりすることが大切です。そして、自分もひとりぼっちにしないこと。感じたことを言葉にして会話しましょう。
- ・無理をせず、自分のペースで、自分の道は自分で切り拓いていく。自分を信じて、互いを信じて、いい日本に、いい岡山に、いい玉島にしてほしいです。それを創っていくのは、若いあなたたちですよ!

素敵なお声で、ユーモアを交えた講演で、あっという間の1時間でした。夢をもって前向きな気持ちで、自分なりの努力を重ねていこうと勇気をもらいました。

